

安城の歴史を現代に伝える情報誌

# れきしみち

- 企画展「安城の今昔1 火消しまいるー消防の歴史と道具ー」
- 収蔵品紹介「はるちゃんの迷子札」
- 連載「安城歴史散策 昔ものがたり」
- 4月～6月イベント紹介、昭和の名作シネマ
- 安祥文化のさとではたらく人々たち、ミュージアムショップグッズ紹介
- 常設展示の展示替え紹介、市民ギャラリーよりお知らせ

2019.4  
No.112



Sakaki



Kago taishi



迷子札 (本館蔵)



Human face earthenware

## 特集：安城の今昔1 火消しまいるー消防の歴史と道具ー

写真左：腕用ポンプ車(本館蔵) 写真中央：安城消防組第十六部消防手半纏(本館蔵)



Spring



Tampopo



安城市  
歴史博物館

Anjo city Museum of History

## 常設展示室の展示替え

2019年1月から展示替えしている見どころはココ！



[常設展観覧料] 個人200円(中学生以下無料)・団体(20人以上)160円  
障がい者手帳等お持ちの方及び同伴者1名様100円

博物館ボランティアによる常設展ガイド

第2・4土曜日 10:00～12:00 / 13:00～15:00

1月から村の文化コーナーの一部を、江戸時代後期の俳諧資料へと展示替えを行いました。

安城地域の俳諧は、18世紀後期にはあまり盛況とは言えない状況でした。しかし、和泉村の都築一統の3代6人が俳諧を盛り上げました。特に用水計画を江戸後期に立案した都築弥厚(1765～1833)は、三河地方の俳人のみでなく尾張の俳人とも交流がありました。「寛永の三大家」と称される程の俳人でもあった名古屋の井上士朗(1742～1812)に師事し、「和楽」の号で数々の句を残しています。

今回の展示替えでは、弥厚の師である井上士朗の画賛幅と士朗が寿老人を描いた文台、弥厚と交流があり、「天保四老人」の一人として全国に名をはせた岡崎の鶴田卓池(1768～1846)の対幅を展示しました。

また、士朗の13回忌追善句会で詠まれた句を卓池らが編集した『安居鐘』(文政7年刊)を展示しています。中には和楽が詠んだ「時鳥雲低き夜をひとたより」の句を見ることができます。弥厚の事業家という面のみでなく、文化人としての顔を見ることができる資料です。

5月19日(日)は

無料開館日

国際博物館の日(5月18日)にちなみ  
常設展観覧料が無料となります。



安城市民ギャラリーよりお知らせ

市民ギャラリー企画展  
時代を駆け抜けたモーターバイク展



時代を駆け抜け、今なお愛される1950年代のバイク20台以上やエンジンパーツなどの部品を展示。

[開催期間] 4月17日(水)～29日(月・祝)  
[時間] 9:00～17:00(※最終日は16時まで)  
[休館日] 毎週月曜日(4月29日は開館)  
[観覧料] 無料

市民ギャラリー特別展  
見て、感じて、遊ぼう!はなが遊園地  
—府中市美術館のゆかいな創作版画コレクションより—



浅野竹二《食卓の猫》

描く・彫る・刷る、すべての工程を一人で行う「創作版画」の展覧会です。

[開催期間] 6月8日(土)～7月15日(月・祝)  
[時間] 9:00～17:00  
[休館日] 毎週月曜日(7月15日は開館)  
[観覧料] 500円、中学生以下無料

## 安祥文化のさと

安祥文化のさととは安城市にある松平氏四代50年の居城跡を整備した安祥城址公園一帯の名称です

[全館共通事項]

住所 / 〒446-0026 愛知県安城市安城町城堀30番地  
休館日 / 毎週月曜日(祝日の場合は開館)、年末年始(12/28-1/4)  
URL / <https://ansyobunka.jp/> 安城市歴史博物館

安城市歴史博物館  
開館時間 / AM9:00～PM5:00  
TEL: 0566-77-6655 FAX: 0566-77-6600

安城市民ギャラリー  
開館時間 / AM9:00～PM5:00  
TEL: 0566-77-6853 FAX: 0566-77-4491

安城市埋蔵文化財センター  
開館時間 / AM9:00～PM5:00  
TEL: 0566-77-4477 FAX: 0566-77-6600

安祥公民館  
開館時間 / AM9:00～PM9:00  
TEL: 0566-77-5070 FAX: 0566-77-6062

安祥城址公園 TEL: 0566-71-2244





歴史博物館や市民ギャラリー、埋蔵文化財センターには貴重な資料や文化財などが収蔵されています。これらを良い状態のまま保管するためには、温度や湿度などをしっかり管理することが大切です。

歴史博物館をはじめとする建物の管理や温度湿度などの管理をおこなっている設備員の仕事を紹介します

安祥文化のさと  
はたらく  
人たち  
安祥文化のさと  
「設備員」



Q1 どんな仕事内容ですか

建物の開錠・施設業務、監視カメラでの監視業務、公園内の遊具、池などの点検をおこなっています。設備の点検では、館内の温湿度管理、給水管理、照明・空調機器、電気設備の点検など多岐にわたります。異常が確認されたら、初期対応もおこないます。建物内の異常が通知されたら、夜間でも台風でも駆けつけますよ。

Q2 やりがいを感じる時は

機器類の異常が発生したとき、トラブルの発生原因を特定して、すぐに処置できたときにやりがいを感じますね。日々の正しい状態を見ていて、どこが異常なのか、数値を見るときに、だいたい予測できます。予測するためにも、日々の点検業務で正しい状態を把握しておくのが何よりも大切だと思います。建物の健康診断をするのが私たちの役割ですね。

Q3 仕事の難しい点は

通常のビル管理と違い、対人だけではなく、展示品・収蔵品の温湿度管理にも細心の注意を払っています。展示品の状態が悪くなることはあってはならないことなので、特に梅雨時期になると、1日に何度も温湿度を確認し、除湿器を入れたりして、基準の湿度を保てるよう対策をしています。

Q4 点検で施設内をまわることが多いですが、お気に入りのスポットはありますか。

歴史博物館の2階常設展の出口から出た渡り廊下から、城址公園を見るのが好きです。城址公園の様子が一望できて良い眺めですよ。また、歴史博物館前のバス停から博物館を見上げるのもおすすめです。建物の造りがしっかりしていて立派な外観だなと思います。

歴史博物館 4月～6月イベント紹介

入門講座／安城歴博・中京大学連携講座

● 入門講座 目からウロコ安城史  
「こうしてできた安城の町ー明治・大正・昭和ー」

〔日時〕各回14:00～  
① 4月13日(土)「そこは原っぱだった」  
② 5月11日(土)「原っぱに駅ができて」  
③ 6月 8日(土)「日本中から人が来る」  
④ 7月13日(土)「町は急には変わらない」  
⑤ 8月10日(土)「したたか安城人」  
〔定員〕30名  
〔参加費〕500円(全5回分)  
〔講師〕高山忠士氏(本館元館長)  
〔申込〕3月22日(金)9:00開始

● 安城歴博・中京大学連携講座

中京大学文学部の教授陣による講座です。  
〔日時〕各回 14:00～ 〔申込〕不要  
5月25日(土) 「弘治年間の今川・武田・織田の拮抗ー三河念劇を取りまく政治環境ー」  
講師：村岡幹生氏(文学部教授)  
6月22日(土) 「尾張徳川家の姫君と武家社会」  
講師：白根孝胤氏(文学部教授)  
7月27日(土) 「壬申の乱と東海道の古代氏族」  
講師：西村健太郎氏(文学部古文書室学芸員)

連続講座・体験講座

● 連続講座「姫きものを作ろう」

正絹の着物生地で、約32cmの本格的な姫きものを製作します。裁縫が苦手な方でも大丈夫です。この機会に着物文化に触れてみませんか。  
〔日時〕5月 9日(木)・5月23日(木)・6月13日(木)・6月27日(木)・7月11日(木)・7月25日(木)  
13:30～15:30  
〔定員〕12名(先着順)  
〔参加費〕5,000円(6回分)、別途材料費3,000～4,000円要  
〔講師〕榊原清美氏(古裂美術工房)  
〔申込〕4月21日(日)9:00開始



● 体験講座「三河仏壇伝統工芸士の技に学ぶ『彫金を体験』」

伝統的な原材料と技術・技法によって、ほとんど手作業で製造される三河仏壇。彫金体験では、下絵に合わせて真ちゅう板を金づちでたたき、凹凸で絵や文字を立体的に表現します。三河仏壇の技を体験してみませんか。  
〔日時〕6月29日(土) 10:00～12:00  
〔定員〕20名(先着順)  
〔参加費〕800円  
〔講師〕小林敏宏氏・村井義幸氏  
〔申込〕6月6日(木)9:00開始



申込み・問合せ 電話にて申し込み受付を行います。各講座の申込開始日を確認の上、お申し込み下さい。  
安城市歴史博物館 ☎ 0566-77-6655

NEW ミュージアムショップ新商品

じんめんにゃんって誰??

歴史博物館の非公式キャラクターを知っていますか。

その名も「じんめんにゃん」!

歴史博物館所蔵の重要文化財・人面文壺形土器をシンボルとしたキャラクターとして昨年誕生しました。

「じんめんにゃん」をデザインしたトートバッグやクリアファイル、ボールペンがショップに登場しました。人気上昇中のキャラクターグッズに、ぜひ注目してくださいね!



じんめんにゃん



昭和の名作シネマ上映会

月に一度、名作映画を歴博にてご覧ください。

4/28 1962年  
目 若人

出演 石原裕次郎、吉永小百合、浅丘ルリ子 時間 90分

江波恵子は、数学教師の間崎に男性としての興味を抱き、その好奇心と情熱をぶつける。石坂文学の完全映画化。

5/26 1964年  
目 愛と死をみつめて

出演 吉永小百合、浜田光夫 時間 118分

骨肉腫という不治の病に侵されながら、ひたむきに純愛をつらぬいた道子と誠の青春を描いた感動の名作。映画は大ヒットを記録、社会現象を巻き起こした。

6/30 1966年  
目 哀愁の夜

出演 舟木一夫、藤竜也、和泉雅子 時間 85分

青年弁護士が友人の冤罪を晴らすために事件を究明するなか、犯人の娘に恋をしてしまう。友情と恋の板ばさみに苦しみながら若き正義感をうたいあげる青春ロマン。

7/28 1966年  
目 けんかえれじい

出演 高橋英樹 時間 86分

「喧嘩キロク」と異名をとる学生が喧嘩に青春のエネルギーをぶつけ大暴れ。女学生への淡い慕情にも悩む青春の日々をコミカルに描いた爽快アクション大作!

8/25 1955年  
目 スラバヤ殿下

出演 森繁久彌、馬淵晴子 時間 86分

森繁久彌が天才学者とペテン師の兄弟二役を演じる異色コメディ。学者の兄になりすまし、詐欺をはたらいた英二は、日本に漂流した「スラバヤ殿下」を名乗ると、一躍マスコミの寵児となっていく。

場所 講座室  
定員 80名  
時間 10:00～

※ 申込不要